

令和2年度 事業計画書

<基本方針>


「臓器の移植に関する法律」の理念に基づき、広く臓器移植に関する知識の普及啓発及び臓器提供医療機関相互の協力体制の確立への助成等を行い、もって県民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とした活動をする。

1. 臓器移植に関する知識の普及啓発及び臓器提供意思表示の普及推進事業

(1) 普及啓発講座

- ・臓器移植に関して正しく理解されるように、市民公開講座等を県内2ヶ所にて開催する。
(県民、透析患者約80名対象)
- ・教育施設及びライオンズクラブ、ロータリークラブ等の各支援団体に一般県民への普及啓発を目的として、出前講座の機会を求めていく。

(2) 臓器移植普及推進月間における啓発の強化及び意思表示の呼びかけ

- ・ドナーとレシピエントの命のつながりを表現する世界的な移植医療のシンボルマークであるグリーンリボンが周知徹底されるよう啓発を行う。
- 
- ・10月の全国臓器移植普及推進月間を中心に、保健所、市町村、関係団体等の協力を得て、街頭キャンペーンや岐阜県農業フェスティバルの会場にて、ポスターの掲示及び移植医療への理解の呼びかけ、普及啓発物品（臓器提供意思表示カード、リーフレット等）の配布を行う。また、免許証・健康保険証等への意思表示の普及を図る。
 - ・学園祭、イベントなどでポスター及びバナーの展示を行う。
 - ・県民が多く利用する市町村庁舎、医療機関施設、教育施設、運転者講習センター、自動車学校、公共体育施設、大型商業施設等に意思表示啓発ポスターの掲示やカードの設置を依頼する。また、成人式の際にカードの配布を各市町村に依頼する。
 - ・中学3年生に教育用リーフレットの配布
 - ・普及啓発活動（広報誌、市町村情報誌、フリーペーパー、病院内ロビーコンサート、チャリティーコンサート、看護週間等）
 - ・ライオンズクラブ主催の献血ブースで普及啓発物品（臓器提供意思表示カード、リーフレット等）の配布

(3) 地域住民への普及啓発

- ・岐阜県の現状について新聞等を通じて広報し、県民が移植医療及び意思表示について身近な問題として関心を高める。
- ・院内体制整備事業での病院の社会的役割及び患者・家族による提供への気づきの促進
(ポスター掲示、カード設置、イベント等)

2. 移植医療従事者及び医療機関相互の協力体制の確立に関する事業

(公社) 日本臓器移植ネットワーク
都道府県支援事業費助成金額 1,200,000 円 (上限)

◎都道府県支援事業

目的	都道府県内における臓器移植に関するあっせん業務を公平、公正、適切かつ安定的に実施する体制を構築するため、都道府県内の臓器移植関係者（行政、腎バンク、アイバンク、医療機関、民間団体、県コーディネーター）が連携して行う移植医療に関する諸問題の検討、教育・研修活動や啓発活動等を支援し、臓器移植対策の円滑な推進を図る。
----	--

(1) 都道府県内活動

- ① 地域連携促進活動 ※総額の50%以上
都道府県内における移植医療の推進のため、都道府県内の臓器移植関係者が連携して行う移植医療に関する諸問題の検討や体制整備を構築する事業
・ 選択肢提示用リーフレット『ご家族のみなさまへ』を、岐阜県（行政）と県内脳死下臓器提供可能施設において更に活用できるよう支援する。
- ② 意思表示促進活動 ※500,000 円 (上限額)
都道府県内の臓器提供に関する教育活動や意思表示を促進するための普及啓発活動等

(2) 都道府県内研修

- 都道府県における移植医療の推進のため、都道府県内の臓器移植関係者が連携して行う臓器移植医療に関する研修活動等
- ・ 岐阜県院内臓器提供連絡調整員研修会の開催：年2回実施
移植医療に関する情報交換、事例検討、セミナー等を通じて院内臓器提供連絡調整員の資質向上を目的に開催する。
 - ・ 3県合同（愛知・岐阜・三重）新任コーディネーター研修会の実施
 - ・ 各調整員の院内コーディネーター活動が活発化されるよう、各施設研修会やシミュレーション等を企画、開催する。また、講師派遣や各施設の希望に応じた支援を行う。

○院内体制整備支援事業の支援

目的	臓器提供に関する要件を整えようとする医療機関に対し、その状況に応じて院内各部門間の連携・院内コーディネーター設置・院内マニュアルの作成・実際の臓器提供を想定したシミュレーション・院内研修会の実施など臓器提供に関する院内体制を整備する。
----	---

参考：2019年度岐阜県3施設/全国113施設

- ・ Bプラン(2施設/県)脳死下臓器提供に供えた院内体制がある程度構築されており、さらに院内の体制整備を行う施設が脳死下臓器提供に供えた体制を完備する。
- ・ Cプラン(1施設/県)脳死下臓器提供に供えた院内体制が構築されており、過去に脳死下臓器提供を行ったことがある施設（臓器提供の経験を有する施設）の更なる体制の充実
常に選択肢提示・臓器提供可能な状況を維持できる体制づくり
- ・ 臓器提供に対する院内の合意と表明を明確化し院内体制整備の中核となる委員会の設立と稼働を支援する。

- ・ 目的に応じた各種シミュレーションの実施を支援する。
 - 寸劇型シミュレーション（全体像や流れを把握）
 - 机上シミュレーション（院内マニュアルを確認する）
 - 脳死判定シミュレーション
 - 手術室シミュレーション
- ・ 患者の意思表示の確認働きかけ（問診票、入院案内掲載等）
- ・ 提供の可能性にある患者調査による実態把握（ドナー適応チェック等）
- ・ 意思確認できなかったケースの分析
- ・ 患者の意思把握、確認できる仕組みやツールの作成と稼働
- ・ 院内マニュアルの作成（脳死下、心停止下）及び修正
- ・ 提供に関する実務担当者（院内コーディネーター）と県コーディネーター、JOT中日本オフィスとの連携体制の構築
- ・ 院内研修会の開催（医療機関院内体制整備支援、都道府県支援事業）

3. 献腎移植希望者に対する支援事業

- ・ 献腎移植登録システム（E-VAS システム）が稼働したことに伴い、登録/更新/意思確認に関する作業がシステム化された為、県内各透析施設及び献腎移植登録者へ周知徹底を図る。
- ・ 献腎移植新規登録方法について県内透析施設の献腎移植担当者に5月末までに案内する。
- ・ 献腎移植登録者の移植病院への年1回の受診案内（各透析施設へ案内）をし、県内で唯一の腎移植施設である岐阜大学医学部附属病院において、献腎移植登録者全員（約180名）の受診がスムーズに実施されるよう支援する。
- ・ 献腎移植登録更新者の血清保存（スピッツ送付、検体回収、検体保存）の手続き及び検査費助成等を行う。
- ・ 透析施設への移植登録説明（透析研究会）

【献腎移植希望者の組織適合検査等の実施】

費用区分		実施予定	新規登録者・組織適合検査 (15名予定)	登録更新者・血清保存 (165名予定)
			検査費用	31,000円
内 訳	自己負担額	5,000円	2,000円	
	協会助成額	26,000円	3,000円	

@26,000×15名=390,000円

@3,000×165名=495,000円

助成予定額：885,000円

4. アイバンク活動を推進するための諸事業

(1) 角膜提供連絡の対応強化

- ・ 摘出医療機関（岐阜大学医学部附属病院）との連携を強化する。
- ・ 県内眼科医療機関（岐阜大学医学部附属病院、岐阜県総合医療センター、岐阜県立多治見病院、岐阜赤十字病院、大垣市民病院）との協定を締結する。

- ・提供者の意思を尊重し、各アイバンクと情報連携を図る。
日本アイバンク協会広域あっせんシステムの活用により緊急角膜要請、角膜あっせんにスピーディに対応する。
- ・角膜待機者とあっせんを円滑に実施できるよう業務を遂行する。
献眼発生時から角膜・強膜移植、保存、移送までの業務を円滑に遂行できるようにする（摘出医師との調整、時間、場所など）
- ・提供者ご家族への説明、意思確認、承諾書受諾からその後のご家族のフォロー
- ・移植を受けた方のフォロー（サンクスレターなど）

（２）普及啓発

- ・アイバンクポスターの掲示、リーフレットの配布（県内保健所 8、市町村 42、眼科医会 50 部）及び DVD の貸し出し（医療関係者、高等学校）などにより献眼活動を推進する。

5. 多臓器にわたる臓器移植に関する相談及び支援

- ・角膜及び腎臓以外の多臓器（心臓・肺・肝臓・膵臓・小腸等）の臓器移植を推進する為に、相談及び支援をする。
- ・臓器移植について啓発物品（クリアファイル）を東海北陸ブロック 7 県合同で作成
「あなたの意思で救える命があります」新
一般県民向けの移植に関する正しい知識や権利の周知
- ・県民の臓器提供意思表示の促進
家族や大切な人との会話・医師の伝達に役立つ知識の提供
意思表示促進のための資材
- ・小・中学生への教育（教科書設置センター）
本人の意思を尊重（承諾）できる家族と社会の成立のための普及啓発物品の作成

6. その他

（１）組織名の名称変更

- ・多臓器にわたる臓器移植の推進を図る為に、関係各所の理解を得て組織名の名称変更を検討する

（２）臓器移植コーディネーターの充実及び研鑽

- ・（公社）日本臓器移植ネットワーク主催の各会議・研修会等への参加により事業の充実を図る。
- ・東海北陸ブロック県移植コーディネーター連絡会議（2 回/年）に参加し他県医療機関の体制整備に関する情報共有及び連携の検討
- ・各学会及び全国アイバンク連絡協議会、東海北陸地区アイバンク広域活動連絡会、都道府県臓器移植推進組織協議会等へ参加し、各種情報の収集と臓器移植コーディネーターとしての研鑽に努める。

臓器移植コーディネーター補助者の雇用

現職の補助者が、（公社）日本臓器移植ネットワークの研修及び試験を受け、あっせん業務の委託証明書を取得後、現職の臓器移植コーディネーターと交代する為、業務が円滑に遂行できるよう現職コーディネーターが補助者としてフォローする。

臓器移植コーディネーター兼務者の雇用

岐阜大学医学部附属病院副看護部長が岐阜県臓器移植コーディネーター兼務として、臓器発生時及び院内啓発を通常業務と兼務（調整）して行う。また、岐阜県臓器移植コーディネーター同様に各研修会等へ参加し、各種情報の収集と臓器移植コーディネーターとしての研鑽に努める。

(3) 機関紙の発行及びホームページの運営

- ・ 県民や医療機関、支援団体の方々に当協会の活動を理解していただくため、機関紙「ぎふジン・アイバンク便り第19号」を1,000部発行する。

(4) 理事会・評議員会の開催

開催日程・内容等	
令和2年6月 予定	第1回理事会 事業報告・決算承認・業務執行報告・評議員会開催決議等
令和2年6月 予定	定時評議員会 決算承認・評議員の改選等
令和3年3月 予定	第2回理事会 事業計画・予算承認・業務執行報告等

(5) 賛助会員の募集

目標額：1,420,000円

- ・ 透析医会・眼科医会を中心に、当協会の趣旨に賛同し、事業活動を積極的に支援していただける法人並びに個人賛助会員を募集する。
- ・ 法人賛助会員には、機関紙への広告掲載を図る。

【団体】 一口 10,000円以上（市町村は人口割） 【個人】 一口 2,000円以上

(6) 寄附金の依頼

目標額：2,000,000円

- ・ 当協会の運営資金は、ライオンズクラブ国際協会334-B地区をはじめ、関係支援団体及び県民の皆さまからの善意の寄附金によって支えられている。また、税額控除対象法人の証明を受け、個人の寄附者の皆さまには、寄附金控除等の税の優遇措置が受けられるため、より多くの方に当協会の事業活動に対して、理解し支援していただけるよう働きかける。

(7) 募金活動

目標額：200,000円

- ・ 当協会の事業活動に対し一般の理解と支援を求めするため、関係医療機関、各事業所の協力を得て募金箱の設置活動を行う。
- ・ イベント時の募金者には、岐阜県オリジナルグッズを手渡す。